

平成26年度公共事業再評価諮問地区「継続」理由書等

(課名： 道路課)

| | |
|------------------------|---|
| <p>事業名 (路河川等名)</p> | <p>道路改良事業 一般国道444号(福富鹿島道路)</p> |
| <p>継続理由</p> | <p>本工区は、有明海北部沿岸地域の都市間の交流や、重要港湾三池港や有明佐賀空港といった広域交通拠点との連携を強化する交流促進型道路である有明海沿岸道路の一部である。 当初から事業の必要性・重要性は変わっておらず、費用対効果の高さや、円滑な交通の確保による地域経済の発展等を勘案し、引き続き事業を継続することとしたい。</p> |
| <p>B/Cの 算出方法</p> | <p>【 便益 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 走行時間短縮便益 = 340.0 億円 ・ 走行費用短縮便益 = 41.5 億円 ・ 交通事故減少便益 = 9.2 億円 <li style="padding-left: 20px;">合計 = 390.7 億円 <p>【 費用 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費 = 124.3 億円 ・ 維持修繕費 = 2.3 億円 <li style="padding-left: 20px;">合計 = 126.6 億円 <p>費用便益 B/C = 390.7 / 126.6 = 3.1</p> |
| <p>備考</p> | |

平成26年度再評価対象事業
(対象：平成21年度再評価実施事業)

(再評価実施後、一定期間(5年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

| 番号 | 項目 | 事業名 (路・河川名等) | 事業目的 | 事業概要 | 事業の進捗状況 | 事業を巡る社会経済情勢等の変化 | 費用対効果の要因の変化 | コスト削減や代替案等の可能性 | 再評価理由 | 対応方針 (事業継続) |
|----|-------|---|--|---|---|---|--|---|------------------|---|
| 8 | 再評価時点 | 道路改修事業 一般国道444号 (福富鹿島道路) 事業主体：県 事業地：白石町 | 有明海沿岸道路は有明海北部沿岸地域を通り、福岡県大牟田市と鹿島市を結ぶ延長約5.5kmの幹線道路であり、平成6年12月に地域高規格道路の計画路線に指定された。 そのうち福富鹿島道路は、地域間の交流支援とともに、曲線半径100m以下の線形不良箇所が2箇所存在し、交通事故が年平均30件発生している国道444号のバイパス機能の役割も担っている。 本事業は、福富鹿島道路のうちの鹿島市側から3.6kmの区間を施工するものである。 有明海沿岸道路については、各市町による期成会や協議会の設立、要望活動が行われるなど、早期整備が望まれている。 | 全体事業費 約187億円 (暫定供用分) 工期：H17～H35 事業内容 4車線バイパス 暫定2車線施工 延長 L=3.6km 幅員 W=10.5m 改良工 L=3.6km 舗装工 L=3.6km 橋梁工 N=2基 測定 1式 用地補償 1式 | H20末進捗率 約1% (事業費ベース) これまでに、測量・調査・設計及び環境影響評価の手続きを実施してきている。 | 白石町遠江(国道444号) H9交通量 9,083台/日 H11交通量 9,003台/日 H17交通量 10,180台/日 ・H18年度に隣接工区の佐賀福富道路に工事着手している。 ・H20年度に福岡県の大牟田市から大川市までが開通。 ・H24年度に新県立病院が開院予定。 | 環境アセスを実施する中で、ルートを絞り込んだ現時点で概算設計したところ、軟弱地盤層が厚く地盤改良費が増加したこともあり、費用対効果算出における総費用が増大した。 当初：85億円 現在：134.3億円 B/C=2.3 | (コスト削減) ・本工区は、全線軟弱地盤上に構築することとなるため、地盤特性を的確に把握し効率的な軟弱地盤対策工法を選定しコスト削減を図る。 ・他工事で発生する残土を本工事の盛土等に流用し、コスト削減を図る。 (代替案の検討) ・特になし | 準備・計画段階で5年が経過 | 継続 (理由) 本工区は、有明海北部沿岸地域の都市と重要港湾三池港や有明佐賀空港といった交通拠点との連携を強化する交流促進型道路である有明海沿岸道路の一部である。当初から事業の必要性・重要性は変わっておらず、費用対効果の高さや、円滑な交通の確保による地域経済の発展等を勘案し、引き続き事業を継続することとしたい。 |
| | 現時点 | 同上 | 有明海沿岸道路は有明海北部沿岸地域を通り、福岡県大牟田市と鹿島市を結ぶ計画路線延長約5.5kmの幹線道路であり、平成6年12月に地域高規格道路の計画路線に指定された。 そのうち福富鹿島道路は、地域間の交流支援とともに、曲線半径100m以下の線形不良箇所が2箇所存在し、交通事故が年平均50件発生している国道444号のバイパス機能の役割も担い、移動時間の短縮・定時制の確保、現道の交通渋滞の緩和が期待される。 本事業は、福富鹿島道路のうちの鹿島市側から3.6kmの区間を施工するものである。 有明海沿岸道路については、各市町による期成会や協議会の設立、要望活動が行われるなど、早期整備が望まれている。 | 全体事業費 約164億円 (暫定供用分) 工期：H17～H35 事業内容 4車線バイパス 暫定2車線施工 延長 L=3.6km 幅員 W=10.5m 改良工 L=3.6km 舗装工 L=3.6km 橋梁工 N=2基 測定 1式 用地補償 1式 | H25末進捗率 約2% (事業費ベース) これまでに、測量・調査・設計及び環境影響評価の手続きを実施してきている。 | 白石町遠江(国道444号) H9交通量 9,083台/日 H11交通量 9,003台/日 H17交通量 10,180台/日 H22交通量 9,627台/日 ・H18年度に隣接工区の佐賀福富道路に工事着手しており、H26.9月現在嘉瀬南IC～芦刈ICまでの約4.5kmが自動車専用道路として開通している。 ・H25.5月に佐賀県医療センター好生館が開院している。 ・福岡県側では、H26.9月現在約19.3kmが自動車専用道路として開通している。 | 将来利用予測を踏まえ、終点部インターをコンパクトな形状に変更したことによる事業費の減額 当初：134.3億円 現在：126.6億円 B/C=3.1 | 同上 | 再評価実施後5年経過のため再評価 | 継続 (理由) 本工区は、有明海北部沿岸地域の都市間の交流や、重要港湾三池港や有明佐賀空港といった広域交通拠点との連携を強化する交流促進型道路である有明海沿岸道路の一部である。当初から事業の必要性・重要性は変わっておらず、費用対効果の高さや、円滑な交通の確保による地域経済の発展等を勘案し、引き続き事業を継続することとしたい。 |
| | 理由等 | | 計画路線延長であることを明記、交通事故件数の時点修正、整備効果の追記(その他は変更なし) | 終点部インターアクセスランプ形状見直しによる全体事業費の修正(その他変更なし) | | | | B/C変更の主要因を記載 | | |